

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-1 地域で大切にしている子育て環境)

### ■具体的な要望等

1. 減っていく子供に合わせて縮小する合理化ばかり進めて、充実しているとは思えない。具体的な施策として、ファミリーサポートを即日簡易に利用できるような仕組みを見直すことや、保育所や学童の預かり時間の拡大、そのための職員採用の要件緩和(保育士免許なし・子育て経験者、福祉大学などの学生アルバイト補助員など)を図る。主要産業である観光産業や農業、漁業(共働き)は土日祝が繁忙期であるため、土日預かりができる外部団体への委託や募集をすること。小学校高学年の子どもが両親の帰宅まで過ごせる場所の整備。
2. 少子化は必然なためどうすることもできないのでそこばかりにスポットを当てるのは一旦やめる。必ずしも子育てに特化せず町民みんなが安心して楽しく過ごせるような環境整備を目指す。木を見て森を見ずをやらない。
3. 実際に娘が第二子を里帰り出産をする時に、年子の第一子0歳児を保育所に預けたかったが、内海保育所には枠がなく預けられなかった。目指す将来像に、「子育てと仕事が両立できるまち、0歳児から3歳児の自宅子育て支援金」とあるが、矛盾していると思う。そうならば、0歳児の受け入れ枠を増やす方が先のように思う。
4. 政府が子供家庭庁を発足させたけど、お金をばら撒くだけでは解決は難しく、大切なのはお金を最小限にして地域が年寄りから子供まで集まる機会を増やしていくのがいいと思います。
5. 基本施策1-1～1-2で提案。本町の最大課題は、人口増である。その点から子育て、小中学校の教育環境である。この1～2年小中学校の再編が協議されてきた。今後の環境変化や問題点を検討していくことが必要である。現在、公共施設の再配置が議論されているが、将来的には保育園も対象となり問題となる、「安心して子供を育てられる南知多」のPRキャンペーンが必要。
6. 基本施策1-1～1-2で提案。地域ごとに小中一貫校を作り先進教育を。
7. 町内出生率が10年程で著しく低下している。町内はもちろん、若い世代の町外からの移住者を増やすことが必要であり、住む家、仕事斡旋などトータル的にフォローできる取り組みが必要であると感じる。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-1 地域で大切に子育て環境)

### ■具体的な要望等

8. 昨年の意識調査の役場からの回答で「出生数の減少は出産世代の若者や世帯の転出が原因」とあったが、転入を増やすための施策をお願いしたい。子どもをこれから持とう、または子どもを持ったばかりの若年夫婦がUターンして親の近くに家を建てようと検討した場合、ネックになるのは、働きながら子どもを預けやすいか、仕事がある半田や東海市知多市大府市、名古屋まで通える環境が整っているかどうか。だが南知多では朝に子どもを預ける開始時間は知多半島内の市町村と比較しても遅く、閉所時間は早い。これでは半田以北の職場には間に合わない。知多半島に仕事を持っていても、住む場所の候補に南知多を選んでもらえない。今はオンラインで仕事もできるため、都会に住まなくても仕事ができる人が増えており、そういった層の獲得も総合計画に書いてあるが、在宅勤務では保育園や学童に預けられない。目的と実際の計画に整合性が無いのではないか。そもそも、子育て世帯が何を求めているのかニーズを聞いてほしい。ニーズを把握しないままでは、出生数減少の対策が適切かどうかを審議できない。子育て世帯のニーズを把握するためのアンケートというと、遡ると「第二期子ども・子育て支援事業計画(R2～R6)」の策定時のアンケートがある。このアンケートでは、仕事と子育てが両立できるよう支援の充実を求める声が高かった結果が出ていた。預け先の数や定員数、預け時間、預けやすさの拡大が求められる結果であったが、この「第二期子ども・子育て支援事業計画(R2～R6)」はどう進めてきたのか。計画とその実行性は毎年見直されているのか。(そもそも、この「第二期子ども・子育て支援事業計画」自体が南知多のホームページを探しても見つけられない。) 支援の物理量が少ないために、働きたい預けたいのに諦めている家庭が周りに複数いる。子育てする親にとっては仕事を辞めたり変えたりせねばならない切実な問題であることをおわかりいただきたい。支援の物理量を増やすのが無理だとしても、どうしたら今の物理量・または減らした物理量で親たちが支援を受けられるのか、保護者のニーズを聞いて工夫できる余地は無いかを、保護者と町が一体となって考える場が欲しい。
9. 祖父母に頼れる家庭や専業主婦層だけが南知多で子育てできる状況を強化しては、転入者増や共働き世帯の獲得は難しいし、これから活躍したい若い女性は益々南知多を選ばなくなってしまおう。おうち子育て応援金など専業主婦層を大切にするのはもちろん大切であるが、女性が活躍できる環境整備も同時に行ってほしい。若年女性の減少による少母化が問題の本質であり、子育て環境整備よりも、仕事や収入の安定を求める声が増加している昨今では、子育て支援をしても人口減少は食い止められない。それでも子育て環境の整備や働く女性支援は必要がある。「女性たちに意欲が無い」ではなく「女性たちが意欲的に働ける環境を用意できていない」「若者たちが意欲を下方修正せざるを得ない環境である」と認識しなければいけないと思う。若者たちが活躍できる環境、働き続けられるよう、多様な働き方を支えるための支援を用意することが急務と考える。
10. 人口減少、出生数減少に併せて行政サービスはおのずとサイズダウンしコストカットせねばならず、町の取り組みは評価できる。その中で、子育て支援金や18歳までの医療費助成など、南知多は頑張っていたらと思うし、保育園は保育士の配置にゆとりがあり目の行き届く質の高い保育をしていたらと思う。こうした南知多の良い部分を外に向けてアピールしていくことも必要ではないかと思う。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-1 地域で大切にする子育て環境)

### ■抽象的な提案、意見等

11. 子供が大きいので、すすんで知ろうとか話題に接することが無い。  
近隣子供は気にかけています。
12. 交通の不便さによりどんどん外へ出ていく。
13. 高齢になり十分に活動が出来ない。
14. 子育ても終わりに近づきあまり実感が持てない。
15. 70代で孫たちは名古屋にいます。毎日の生活で地域の子供たちと会話する機会はありませんが、年に1・2回小中学校に「三味線教室」に出向いています。南知多町の将来の為、年寄で協力できることがありましたら、どんどん使ってください。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-2 次代の担い手を育む教育環境)

### ■具体的な要望等

1. 環境学習など子どもたちに提供したいが、子育て真っ最中で子育て環境に余裕がなく、行う事が困難である。また、無償のマンパワーには質のバラつきもあり、内容の正誤も精査できないため、ボランティアなどに頼って予算を抑えることにはリスクがあると思う。しっかり予算をかけて質の高い教育支援をこの町の子供たちに提供していただきたい。
2. 子供たちの学力維持に大いに不安があります。今や都市部の塾に通わなくてもネットを活用して家庭でも高度な教育環境が整えられますが、それについて理解のある教育者、また最新の家庭学習の方法をコーチングできる先生方はいらっしゃいますでしょうか？SNSや検索エンジン(さらに言えば対話型AIも)を活用すれば先生に質問するより早く疑問を解消することが出来る。絵画一つとっても先生の評価のコメントを待つより早く世界中から様々な評価を得ることが出来ます。しかしそれにはやはりある程度のネットリテラシーが必要です。先生方には従来の常識やプライドに囚われず子供たちにどんどんそういった情報を与えて行って欲しい。漁業など家業を継ぐ子供たちを否定する訳ではありませんが、その地域に子供を縛り付けることなく広い世界で学ばせ、その経験をもってして地域を発展させていってくれる人材を育てることこそ急務だと思います。
3. 予算事業で、小学校の備品設備などの適切な管理とあるが、修理するのが遅すぎる。実際に、内海小内学童保育で使用している南側の窓にヒビが入り、とても危ない状態でガムテープで修繕していたが、健康子育て室の対応が全く遅く半年以上もほったらかし状態。その理由として支払いがどこになるかで遅くなったと言うが、防犯上と割れて子供が怪我したら危険なのに、論外です。予算云々も良いが、役場内の組織ももっとしっかりしていただきたい！現場のことを全くわかっていなくて、デスクの上で考えていてもダメだと思います。
4. 子供たちの教育は全体主義ではなく個人個人に合った教育得意な分野を大きく伸ばすことにも力を入れたらどうか。地元就職しやすいように職場体験をもっと広げてはどうかと思う。
5. 基本施策1-1～1-2で提案。本町の最大課題は、人口増である。その点から子育て、小中学校の教育環境である。この1～2年小中学校の再編が協議されてきた。今後の環境変化や問題点を検討していくことが必要である。現在、公共施設の再配置が議論されているが、将来的には保育園も対象となり問題となる、「安心して子供を育てられる南知多」のPRキャンペーンが必要。
6. 小規模大規模メリットデメリットがあるので永遠に答えがでない。小規模ならではのメリットを発揮する。のびのび自由に学べるよう選択できる教育環境。
7. 基本施策1-1～1-2で提案。地域ごとに小中一貫校を。
8. 学校統合が進むほど、子供たちは地域から離れていく。地域に1校の小学校は必要である。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-2 次代の担い手を育む教育環境)

### ■具体的な要望等

9. 廃校を利用して小学または中学の不登校特例校を作ることができれば、リモートでも働ける働き盛りの子育て世帯が毎年移住してくると思います。不登校特例校には非常に大きなニーズがあり、他に先行者有利案件はほぼ残っておらず、人口を増やす唯一の起死回生の方法だと思います。難しいとは思いますが、この難しさの中に南知多の課題が濃縮している気がします。
10. 子どもたちへの体験を提供したいがどうしたらできるか？(びわ狩りなど)

### ■抽象的な提案、意見等

11. 田舎だから出来ること、少人数だから出来ることをやるとよい。
12. 中学が統合し間もないが、役場の方はよくやってくださっていると思う。今後も統合が進む中で、様々な課題が出てくると思うので、柔軟に対応していただきたい。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-3 生涯通じて取り組む健康づくり)

### ■具体的な要望等

1. 健康南知多プラン推進事業は、プランに終わらず、実際に町民の役に立っているだろうか？町民に届かないプラン立てにお金と時間とボランティア労力が使われていないか？その年度毎に立てたプランの成果を示して欲しいです。
2. 南知多町と美浜町で知多厚生病院を官民製の医療機関にしてもっと検査機械の最新化をしてもっと利用しやすくしたらどうかと思います。
3. コロナ対策での町の取組は評価できる。今後、町の医療健康体制づくりでは、住民にわかりやすいパンフレット等の作成が必要。緊急事態での病院案内などをわかるようにしていくことです。
4. 100歳体操はとても良いと思っています。
5. コロナワクチンは即刻中止。
6. 予防医療にも力を入れてほしい。
7. 離島の緊急医療体制での不安点が深夜などの船での移動です。海上タクシーで本土へ行こうとしても繁忙期になる夏など、利用するのに難しい時もあると思います。料金は発生しますが、個人の商売をしている中で、なおかつ緊急搬送もとなると仕事の妨げにはなっていると思います。町で緊急用でも利用できる船を一隻用意するか、それが難しい場合は補助として利用した船にプラスで補助を出さないと、海上タクシーも年々減っていて負担が増えてきてしまうと思います。

### ■抽象的な提案、意見等

8. なるべく自由に生きる。
9. 週2回の体育館での楽しく運動の継続中。

## 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

### 町民意識調査の回答結果(施策1-4 個性を活かす障がい者福祉)

#### ■具体的な要望等

1. 様々な障がいのある方、認知症の方、子育て中の家族、青少年、元気な高齢者、引きこもりがちな若者、様々な方が気楽に集えるカフェのような場所を作りたい。子どもや若い世代には多様性を学ぶ機会、障がいのある方や高齢者、生産年齢の方には必要とされたり居場所の1つとなったりする。今は「こころの時代」豊かさは心の満ち具合。スッと気の抜ける場所、やる気の出る場所、そして経済を回す場所としてソーシャルなお店を作りたい。

#### ■抽象的な提案、意見等

2. 日頃から障害のある方に出会ったときは、できるだけ声掛けや手助けをしたい。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-5 安心して住み続けられる長寿社会)

### ■具体的な要望等

1. 町職員ではなく、シルバー人材センターの方や学生に見守り巡回してもらうのはどうか。そういう協働で保つ方が安定的ではないか。自助共助や支え合いは若い世代が少ない以上、支えられる側が多すぎて共倒れになると思う。人口流出とコミュニティの限界ははっきりと見えています。少ない予算で、高齢者に健康に暮らしてもらうためには高齢者が賃金を得て人を助ける、学生の学びの場としての老人福祉があっても良いのではないのでしょうか。
2. 見回りは大切で遠隔カメラでも見守る仕組みや年寄り同士で連絡が取れるようにしたらどうだろうかと思います。
3. 75歳以上ひとり暮らし高齢者を町職員が見守り訪問を2か月に1度?それを1週間に1度にしてください。せめてもの回数です。本当は1日に1度がいいですが・・・!
4. 紙オムツは全額負担。
5. 予算事業に75歳以上一人暮らしを見守り訪問とあるが、私も地元で60年住んでいて思うが、75歳以上の一人暮らしに限定してしまうと見落としがある。例えば、登録は高齢のご夫婦になっていても実際はどちらかが入院していたりして実質一人暮らしのようなものなので、75歳以上の見守りにした方が良いと思う。
6. 町職員の見守り事業が行われている、一人暮らしで聞き取りなどを行っているが、その際必要な情報のパンフなどを提供してもらいたい。

### ■抽象的な提案、意見等

7. お店がない村には住んでられない。
8. 自分も70代であるが、まだ健康体ですので、隣近所の一人暮らしの高齢者の方の手助け(話し相手・お惣菜)をしたいと思います。



# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり)

### ■具体的な要望等

1. 町民や移住者、移住希望者は「触れ合える自然」を求めているが、都市部よりも触れ合える自然が少ない。公共の、分かりやすく老若男女が利用しやすい「自然と触れ合える場所」が整備されるべきです。乱開発され放置された跡地や、地域の史跡や鎮守の森を整備し、南知多を感じられる場所を提供する。子どもが立ち入れる里山のような場所の整備は子育て世代の囲い込みと呼び水になる。触れ合える自然を管理するための予算は組めないのか。環境保全費や農業土木費から自然公園を生かす里山公園整備費は作れないのか。
2. 太陽光パネルの撤去。
3. ソーラーパネルは不許可にして。
4. せっかく海があるのだから漁業権を解放されたことを受けて誰でも海に入って生まれた場所に興味と親しみが持てるようにできたらいい。我々も子供の時に自由に海に入ってカニや魚を捕まえて海に親しんでできていい思い出ができ、地元を大切にしようと思えるようになりました。
5. これまで南知多町のハイキングロードやサイクリングロード(サイクリスト)の整備を要望してきたが未だ実現しない。多くの自治体でサイクルロードの整備やトイレ休憩場所の提供などが進んでいる。余剰の公園や、今回乱開発にさらされた檜木地域の整備など、新たな観光拠点としての南知多が出来ていくと思う。(昨年と同様)
6. 生き物観察会やビーチクリーン、稲刈り体験会もこれに当たると思

いますが、名古屋の子育て世帯がリーチしやすい形で宣伝してはどうですか。(例えば愛知県内の保育園に配られる「ママごはん」などの小冊子に、小さくても南知多を宣伝する広告欄を持つなど。少額でも効果的に子育て世帯へイベント周知ができて、南知多への関係人口を増やせるのではないか。)

7. 住みたい、戻りたいとしたいのであれば、まだまだ町は補助や支援が足りない。育てるには田舎で最高な場所であっても、子育てには今、南知多町は向いてないと思います。

### ■抽象的な提案、意見等

8. 今後、この課題は企業として、大きく貢献していく準備をしています。
9. 太陽光パネルが増えてきている。= 自然の破壊がなにより残念。景観的にも・・・。
10. 孫達が帰省すると海や山の自然体験をすることにしている。
11. 南知多の山・海などの自然に親しむよう、仲間と月に1回はハイキングを計画し、楽しんでいる。また、コロナで中止していた、地域でとれた魚のバーベキューもそろそろ始められそうです。名古屋から孫を呼んでは、磯で貝・わかめとりなど楽しんでいる。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ)

### ■具体的な要望等

1. スポーツや文化を維持するには、現代の生活スタイルに大きな負担となる。学校教育に外部講師を招いて開くスポーツ講座を組み込んだり、スポーツ少年団のような組織が個人のボランティア精神に任せたものでなく、賃労働であってもいいのではないかと。学びとしてスポーツを始めたい子どもがいても、家庭に金銭的余裕または時間的余裕がなく諦める子どもがいるので、スポーツの習い事に補助金を付けたり、送迎や保護者負担を減らす支援があれば青少年だけでなく、老若男女スポーツに触れ合え、身体への健康にも寄与するのではないかと。「健康な体づくり支援事業(仮)」として広報等で呼びかけ、定額または実費など支援してもいいのではないかと。
2. なぜ、伝統行事、祭りが大切なのか、子どもの頃から伝えられると良いと思います。
3. 受け継いでいく人がいるのが郷土愛であり、町内の人々が利用できる施設も町民がいてからこそであるため、今後縮小傾向になっていくのは必然的である。ただ受け継いでいく努力は必要だと思ふ。
4. 地元の祭礼などの行事は人的減少でこれまでの形態を維持するのは困難でコロナ禍で大きく後退するのは必至、少人数化で年代を問わない企画が必要だと思ふ。
5. 地域を大切にすれば学校をつぶすな。
6. 文化財保護と博物館の建設(空き校舎や施設の再利用など)最近の発掘調査ブームなど生かせる資源が沢山ある。(昨年と同様)

7. 毎週、総合体育館でのヨガ教室に参加しているが、町の費用の補助があるといい。

### ■抽象的な提案、意見等

8. あまりお金をかけない方がいいと思う。率直に。
9. 今はできない。この先できたらと思ふ。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策2-1 豊かな海と産物を活かした水産業)

### ■具体的な要望等

1. 豊浜地区に関して、新規に漁師になりたい若い人が住みやすい手頃な賃貸住宅又はアパートがないので、他所から雇い入れたくても雇いにくいです。
2. この町の魅力の大きな部分である海産物。観光客も県民も南知多の海産物は「目的」として十分な資源です。漁業収入はこの町の財政の大きな位置づけであるから、漁場を豊かにすることや人材確保、そして広報は全力で投資してください。
3. 魚の種苗放流はとても意義のある事業だと思いますが、漁業関係者に「成長乱獲」の意識はあるのかと疑問に思う時があります。もう2~3年待てば大きくなるであろう小さな魚まで早獲り競争のように根こそぎ水揚げしては資源管理も何もないどころか一度に処理もできないので家畜の肥料にするしかないという現状、構造的な欠陥を感じます。漁船ごとに漁獲枠を設け、それに満たなかった漁師には町が補填をする...というのは難しいとは思いますがそれくらいしか解決策は無いような気がします。
4. 衰退していく水産業では生活で生き抜くための教育が必要だと思います。就職についての消去法で漁業に従事するのは危険で衰退に拍車がかかるので水産の教育を取り入れることで地元就職する環境を整えたらどうかと思います。
5. 小女子・蛸・イカ・蟹等魚が獲れなくなっている。難しいが、原因究明や対策など研究する場、町民(漁師)が学習する場を設けられないか？
6. 最近の漁業不振は、温暖化に一因があり、今のうちにとれるだけ獲る漁法では町はつぶれる。温暖化の原因調査など水産試験場の協力なども得て広報活動を強める。福島原発の汚水の放流などは町として「反対」の意思表示をお願いしたい。(昨年と同様)

7. 高知県黒潮町のように、地域の美味しい水産物と地域の野菜をコラボさせて、南知多の味を防災缶詰にできないでしょうか。

### ■抽象的な提案、意見等

8. あまり魚のいない海の印象。
9. 山口県の萩大島船団丸を調べて。
10. メディア使用は影響が大きいと思います。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策2-2 豊かな農地と産物活かした農業)

### 具体的な要望等

1. 優良農地は効率化して太陽光発電など入り込ませないようにし、分散農地や特性の強い農地はそれに適した付加価値のある作物を作り、南知多町産を誇ってマーケティングしたらもっと収入に繋がるはず...そういったコンサルやコーディネーターが自分にも出来たらいいのですが。小規模農家も南知多で生産しているだけで価値が生まれるよう、町としてもマーケティングや広報に予算を投資しては。
2. 農業の振興はまずは経験だと思うので高齢者の長い経験の意見をまとめてマニュアル化して効率よい作物方法を若手が引き継がように仕組みを作れば交流が活発になり発展する可能性があると思います。
3. できれば地元の農薬の少ない野菜を食べたい。しかし自給率はどんどん下がり、JAの野菜売り場もどんどんつぶされている。JAを守り、農家の人が安心して暮らせるだけの保証をしてほしい。
4. 新規の農業従事者が生産した農産物の販売に苦慮している。現行のスーパーや農協関連の販売は門戸を閉ざしているに見える。町の積極的な施策により「道の駅」や「南知多町アンテナショップ」を開設し、これからの農業従事者に販路を提供し、同時に観光客にもアピールする取り組みをお願いしたい。
5. 他市から南知多で農業をやりたい！との希望者に利用しやすい施策を検討し紹介する取り組みが必要だと思う。ウクライナ戦争での食料危機が深刻化し、自給率の低下が緊急課題に。農業従事者を育成する施策を進めてもらいたい。
6. 農協ではなく町で産直市場など開いてほしい。

7. 個人的には漁業以上に農業は、やり方次第で伸びしろがあるように感じる。休耕地となっている農地も多いので、農業者に対する許可なども柔軟に対応して活性化していけたらと思う。
8. 販売網を広げる手伝いを充実しては。

### ■抽象的な提案、意見等

9. これからももっと貢献できるように進めます。
10. 今は無理。この先、南知多の役になりたいと思います。

## 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

### 町民意識調査の回答結果(施策2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業)

#### ■具体的な要望等

1. 「地域の特色や資源を活かして…」というのも大変意義のあることだと思いますが、それに縛られ過ぎるのも発展の妨げになるかと思えます。他の地域の食材も柔軟に取り入れ、掛け合わせしていくことで新たな可能性が広がっていくと思えます(何を取り入れるかはその人のセンスによるとは思いますが…)
2. 基本施策2-3、2-6で提案。商工会を合併しろ。
3. やはり町内の若者が地元就職しやすいように時限的に税優遇したり、空き家を若者に提供したり何らかの手を打って若者に住みやすいように意見を聞いたりしてして地元就職すれば出生率も上がると思えます。
4. 地元PRは効果あると思った。先っぽ料理で町外の人から聞かれ、勧めることができる。
5. 個人で営んでいる店舗、工場などが最近多く減少していくのを感じる。また、募集をかけても働き手が見つからないという課題もある。

#### ■抽象的な提案、意見等

6. 1次も2次も3次も自社でやるから6次産業というのかと思っていました。(実際、自社で完結している)
7. 親戚、友人への贈り物は、地元特産物にしている。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策2-4 何度も訪れたい観光・交流)

### ■具体的な要望等

1. 姉妹都市交流は要らないかな。日本中旅行し持続可能な地域活性化を学んで実行してきた自身としては、観光案内人の育成や、「グリーンツーリズム」のような自然や農林漁業と地域の人との繋がりを全面に押し出した「旅」の在り方に予算を掛けた方が良いと思う。お金もほとんどかからないし、繰り返し人が流入する。中には定住する人も出てくる。私はグリーンツーリズムを専攻し実施していたので、子育てが落ち着いたらコーディネートしていきたい。
2. 情報発信を個人の努力に頼り過ぎてはいないか？それならそれで町が意欲のある住民をSNSアンバサダーに認定するなどいろいろ支援の方法はあると思います。
3. もっと魅力ある町へ発展しないと有料道路がもったいなくて来ない。
4. 特産品に認定された商品は本庁の玄関に掲示されているが、ミーナの恵認定品はそこにはない。ミーナの恵み認定ブランドのコーナーが無いのは不思議です。
5. 竹やぶを整備して肥料化に力を入れて。
6. 観光業で大切なことは観光資源と宿泊所を維持することだと思います。旅館や民宿の空き家を民泊にして後継者を募ったり、人手不足を緩和することを考えることも大事かと思います。
7. 総合管理計画で内海駅近辺の観光協会の改善を求めた。また、河和に南知多のアンテナショップの提案をした。検討を！（公共施設等パブリックコメント）(昨年同様)。アンテナショップは、観光客の利便のみならず、町民の各種証明などの発行手続きなども行う「町のミニ出張所」を兼ねる。

8. 南知多町の観光PR系のパンフレットに関して、各地区・団体が個別で散発的に作るのではなく、例えば年に一度、全ての地区の観光・土産・宿泊・食事諸々をまとめた一冊のパンフレットを作った方が、費用対効果が高いのではないかと思います。愛知県のイベントにて南知多町の観光PR系のパンフレットを配布した際に、(悪い意味で)こんなに数があるの？という反応がそれなりにありました。

### ■抽象的な提案、意見等

9. 地元の知らない事があり、出かけて体験、発見です。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策2-5 新たなチャレンジを創る起業支援)

### ■具体的な要望等

1. 起業しようとしていますが、何やら町が突っ走って鼻根にしている企業があるとかないとか。持続可能性は検証されたのでしょうか。農地も平地はほぼ無いので、集積にこだわらずに、町の農産品の価値をアピールした方が経済的では。町内で起業したい人は「生産人口」であり、「子育て」をするかも知れません。働きながら子育てしていける環境が整備されていない事には「起業」して成功するような人は来ません。リサーチ力がありますから。将来的に人生を豊かに過ごせるか、多角的に見ています。人口を増やしたいのなら、安心して暮らせることを証明できる受け皿を整備し、ガイドブック(Web)を作成することに予算を使う。
2. まず働き手を確保することも重要かと思います。仕事をしていない人を斡旋したり、人材募集を応援することを町を上げて取り組むことも大切かと思います。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策2-6 価値ある産業を残す事業承継支援)

### ■具体的な要望等

1. 受け継ぐべき事業は洗い出されているのか。洗い出されているのであれば、M&Aを町が仲介してもいいのではないか。そこに大して予算は割かれない。
2. 不漁渦の水産業及び地場産業の様子を見る限り発展は厳しいと思う。
3. 基本施策2-3、2-6で提案。商工会を合併しろ。
4. 後継者難や人手不足は町を上げて調査して町外から人を呼び込むことに努力するのは大事。



# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策2-7 働く環境づくり)

### ■具体的な要望等

1. 環境が悪く、町内の労働者が敬遠するような場所で外国人労働者が働き、企業によって待遇もピンキリ。
2. インフラ整備こそ、町内雇用を産む。
3. 衰退していることに資金を使うより。今はもうすぐ起きる大地震津波に備えて高台の施設整備、防災グッズ、備蓄食料などに予算を重点的に早急に準備してほしい。
4. まずは町の職員のデジタル化と効率を良くしていくこと、何回もその課でどうすればいいのかミーティングを重ねて改革をお願いしたいです。
5. 少子高齢化が進み、工場や農家、介護施設の運営により多くの人手を必要としている日本にとって、外国人労働者の方々に来てもらって働いていただくことが今後さらに必要になってくると思う。彼らに気持ちよく南知多で働いていただくことや、地域と協同していくことも大切だと考える。南知多はこれについてどのような取り組みを考えているか。

### ■抽象的な提案、意見等

6. 何故知らないのだろうか？どうしたら知る事ができるのだろうか？

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策3-1 まちと命を守る防災)

### ■具体的な要望等

1. 自主防災組織に任せすぎです。学校や職場から動けない人たちが置いてきぼりになるので、各事業所に防災倉庫と発災時の訓練を呼びかけ、一人ひとりが対応できるよう意識向上に予算を。助かって凌ぐのはほぼ自助なので、啓発に力をいれたい。
2. 以前のアンケートでも伝えましたが、ライブカメラの設置は観光と防災の両面で効果があると思います。内海海水浴場(夕陽が写るように)、豊浜漁港(競りの様子が写るように)、師崎フェリー乗り場(出寄港の様子が写るように)など、南知多の各所に。いざ津波が起こればその惨状がリアルタイムで外部に伝わり、ボランティアや支援物資なども早期に集まると思います。
3. 井戸のある場所を調査して、水質検査や管理などに補助をし、災害時に使える井戸を増やして欲しい。
4. ため池が多くあるが、ため池も津波を起こすことを住民に周知して、対策を講じてほしい。
5. 高浜の県道247(高浜一かるも保育園)避難路に指定されているが、道幅が狭く、水路に蓋がなく危険である。避難道路として緊急の整備が必要。初神と豊浜信号間の水路(バス停などがるが)開口は水路が深く危険。至急の暗渠化を望む。(再掲)
6. 高知県黒潮町のように、日常食にしても美味しい地域の魚や野菜を使った防災缶詰は作れないでしょうか？水産物と農産物がコラボできる加工品の企画がもっと必要だし、不安な非常時こそ、コンビニのおにぎりやパンではなく、南知多のものが食べられたらほっとします。災害時には甘いものが求められますが、甘味缶詰は種類が少ないためネットでも大人気です。いちじくや

柑橘類やビワや苺を使ってスフレケーキや羊羹なども缶詰化できたら、需要があると思いますし、ふるさと納税の返礼品にもぴったりだと思います。

7. 学校の防災は念入りに。

### ■抽象的な提案、意見等

8. なにより一番の重要課題だと思います。
9. 災害はなかなか防げないのでまずは命が助かることを祈ります。
10. 非難防災訓練など計画されれば、参加するようにしている。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策3-2 つながりを活かした防犯)

### ■具体的な要望等

1. 高齢者の交通安全教室開催を。道路の真ん中を歩いたり、ふらふら走ったり危険です。誤って轢いた側も悲惨です。
2. 空き巣が多いので、町内に防犯カメラ多数設置のお願いを。
3. 漁業、農業者へ盗難防止のため防犯カメラ安価なダミーでいいので補助。開パ道路での自転車は何度も危険な場面を見ているためサイクリング禁止必須。
4. まずは車の通行量も少なくなってきたので早く自動運転車を解禁させる取り組みが必要かと思えます。

### ■抽象的な提案、意見等

5. 防犯に気をつけているつもりが、うっかりミスがあり、ドキッとする日もあります。
6. 外出時は必ず施錠し、防犯に気を付けている。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策3-3 資源を活かす土地利用)

### ■具体的な要望等

1. 今親が持っている3階建ての空き家にも耐震補強の補助金が出せれるようにしてもらえたらありがたい。他所からの漁師希望者のために賃貸にしたいと考えているため。
2. 持ち主不明が確認できた廃屋や土地は整えて公共施設設置や売却ができるとういのですが。
3. 町外から働きたくてくる人も住む所をいつも困ってます。町外からの人も住みやすく貸家物件をもっと増やして移住を促すことも大事だと思います。
4. 公園や空き家後の活用(南知多町公共施設等総合管理計画パブリックコメントで提案)
5. 今後10年で空き家は確実に急増していくと思う。無償でも引き取り手のない土地、家屋も多く有り、解体費用も高額である。空き家になったら放置しない、放置したリスクを伝える必要がある。
6. 空家の持ち主は、きちんと納税しているのだろうか？そもそも持ち主の居場所はわかっているのだろうか？持ち主のわからない土地や建物が、町の資産(プラスの)になる対策ができると良いと思います。
7. 空き家になる前からの対策が必要と思う。
8. 町内会、祭り、消防などが意外にも大きな原因だと思います。要改善。
9. 何をしても、町を出ないと解決できないから、人口流失しかたない。買いもの、塾、警察署、駅等すべてが不便すぎるから、無理だと思う。
10. 固定資産の維持がとても負担です。
11. いくら人の流出が多いからと言って、人の人生を矯正してはいけない。住んでもらうのではなく住みたくなる。のが正しい流れ。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策3-4 安心な暮らしを支えるインフラ)

### ■具体的な要望等

1. 町の予算では到底足りませんね。国や県に働きかけて大きな所から整えて下さい。見た目は大事です。

### ■抽象的な提案、意見等

2. 南知多町に来て、停電になるときが多くてびっくりした。停電してWi-Fiが使えなくて困る。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策3-5 暮らしを支える地域公共交通)

### ■具体的な要望等

1. 通学時間帯のバスを増やすか少しだけ早めてもらえると阿久比高校へ通う人もバスで通えるのに、と言う話を聞きました。通勤通学の時間のバスの時間を少し融通していただけたらと思います。
2. 海っ子バスの支払いに一般的な電子マネーの導入を。
3. 新中学校。人口の多い内海の子供たちをわざわざ豊浜までスクールバスで送迎するのは収支で結果的に無駄なのでは？
4. 娘が高校の通学で河和駅までバスを利用しています。電車との連結が悪くて、駅で1時間以上待つことも結構あるようです。せめて待ち時間を30~45分位までに改善してくれるとありがたいです。この状況だと子供が高校に進学するタイミングで南知多町から出て行ってしまう家庭も増えていくのではと思います。改善する見込みがないなら我が家もこれからを考えてしまいます。
5. 移動手段といえば車ですが知多半島道路は生活道路なので町民は無料でなくてはなりません。これも流出の大きな原因です。
6. 地域バスは小型にして本数を増やして。
7. 地方の交通手段や高齢ドライバー対策はカーシェアリングや自動運転車が有効だと思います。その時期になったら即座に対応することが良いかと思います。
8. 運転免許返上の時の為、うみっこバス体験をしたいと思う。海っこバス住民説明会などに参加し、住民の使いやすい海っこバスを創っていきたい。
9. 海っ子バスの充実を願う。
10. 路線バス(海っこ)の充実。バス停の安全性の確保、停留所の椅子や雨除け。夏場の海水浴客の利便性の確保、混雑時期の駅での臨時案内(パートかボランティアなど)。バス停の変更。安全上も極めて危険な個所に有るものの変更。特に、豊浜一内海間の西海岸線、防波堤そばの停留場の変更。(退避難場所がない)
11. 交通の不便差が元々あるにも関わらず、最近また更に名鉄の会社の理由により廃止やら縮小やら、天候でもすぐに船を欠航にされてしまう。島民にとっては船は生活の1部であり、無くてはならないもの！船料金の割引も何故1人何枚と決められてるのか？島民の船割引は切符を購入の際に割引をして頂きたい。割引配布の際、取りに行く行かない、貰っても使用しない不平等がでる。なので、購入の際に割引の形にして頂きたい。
12. 通学バスのバス内放置や、学童の送りで児童が1人になるとき等(1人しか学童へ行かない時など、女の子だと心配)、安心して任せられる運転手なのか心配。
13. 海っ子バスが不便になるのでさらに利用しづらくなると思う。バスを利用している学生が不便さから利用しなくなると自家用車の送迎が増え、家庭への負担となる。朝晩の送迎での時間負担は大きく、住みやすさ、働きやすさ、子育てのしやすさに直結すると思う。

## 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

### 町民意識調査の回答結果(施策3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ)

#### ■具体的な要望等

1. 自助共助に頼りすぎていて、人口減の中、区長に取りまとめをお願いするのは大きな負担。助け合うことすらままならないコミュニティの崩壊。定期的に巡回する組織を整備して欲しい。
2. 助け合いはこれから増々重要になってくると感じますが、地域活動がうざく流出する人も多いのは事実なのでそんなやつは知らんでは解決しないと思います。
3. 町づくり推進事業では、最近豊浜の桜公園が整備され、マスコミなどにも報道され観光客が多数来場(町)した。予算などは不明だが、道路からの案内板や施設の整備など、他の公園も町全体での取り組みが推進されれば、活性化が期待できる。またこの間、公共施設の再配置計画が進められているが、つづす前に将来計画を示し、それに近づけていくための再配置として住民の意見を求めていく計画が必要と考える。

#### ■抽象的な提案、意見等

4. 多様性を求めすぎると日本人が消える。

# 町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

## 町民意識調査の回答結果(施策3-7 心と体安らぐ自然・住環境)

### ■具体的な要望等

1. せっかくの豊かな自然をもっと感じる場所、景観など環境整備ができると思う。勤労世帯にはいつでも出せるステーション必要。カメラ付きならわやしない。
2. 247のウバメガシを切って。
3. 太陽光をめぐる乱開発など、住環境の破壊が急速に進んでいる。太陽光関係の条例化に続き、「(仮)南知多町景観計画」の策定(条例化)が予定されている。極めて重要な条例ですので、町民の意見を広く求め、検討を進めてください。
4. 南知多道路は草が生い茂ってて、危ないし見づらい。雑草などがあれば虫なども増えるが、環境にいいものとそうでない虫もいる為、清潔に保てないならば伐採して整えて頂きたい。電灯などもLEDに変え、暗い箇所などがあつたらつけて頂きたい。

### ■抽象的な提案、意見等

5. ゴミは極力減らしている。
6. ごみの分別はとても重要だと思い、努力している